

## 予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：教育費 項：教育総務費 目：教育指導費

## 事業名 へき地教育振興会補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 義務教育課 小中総合支援係 電話番号：058-272-1111 (内8595)

E-mail：c17785@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 500 千円 (前年度予算額： 500 千円)

## &lt;財源内訳&gt;

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	500	0	0	0	0	0	0	0	500
要求額	500	0	0	0	0	0	0	0	500
決定額	500	0	0	0	0	0	0	0	500

## 2 要 求 内 容

## (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

本県は県土の82%が山林におおわれ、山間へき地には小規模な学校が多く存在している。学習指導要領の趣旨を踏まえ、教育課程のさらなる工夫に向けて、教育環境や内容等の充実が必要である。岐阜県へき地教育振興会は、昭和28年発足以来、へき地教育の環境改善に努め、山間へき地における学校教育の振興を図るための事業を実施している。当振興会が実施する事業は、県のへき地教育の充実に重要な役割を担っており、引き続き当振興会の事業活動に対する支援をする。

## (2) 事業内容

へき地教育の研究や「岐阜県のへき地教育」の刊行など、当振興会が実施する事業に要する経費の一部を補助する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県負担10/10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	500	岐阜県へき地教育振興会への補助
合計	500	

**決定額の考え方**

--

4 参考事項

(1) 国・他県の状況

少子化・人口減少社会により各学校の小規模化が進んでおり、へき地学校及び複式学級を有する小規模校における教育の充実が求められている。

## 県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

**(事業内容)**

補助事業名	へき地教育振興会補助金
補助事業者（団体）	岐阜県へき地教育振興会 (理由) へき地の市町村が加盟する、へき地教育の振興を行う団体であるため。
補助事業の概要	(目的) 岐阜県のへき地教育水準の向上を図る。 (内容) へき地教育の環境改善や学校教育の振興を目的とした事業活動を支援する。
補助率・補助単価等	定額 (内容) 500千円 (理由) 事業費の一部を支援するため。
補助効果	へき地指定校における教育の環境の改善
終期の設定	終期 令和10年度 (理由) 第4次岐阜県教育振興基本計画の終期によるもの。

**(事業目標)**

<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか へき地教育の環境改善や学校教育の振興を目的とした事業活動を支援することで、岐阜県のへき地教育水準の向上を図る。</p>
--

**(目標の達成度を示す指標と実績)**

指標名	事業開始前 (H30)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R10)	達成率
① へき地・複式教育研修会への参加者数	93人	74人	100人	100人	100人	74%

補助金交付実績 (単位：千円)	R3年度	R4年度	R5年度
	360	500	500

(これまでの取組内容と成果)

令和4年度	へき地・複式学校における学校・学級経営、学習指導、生徒指導等について研究討議を行い、へき地・複式教育そのものや少人数指導に対する理解を深めるとともに、その資質向上を図ることができた。
	指標① 目標：— 実績：— 達成率：—
令和5年度	へき地・複式学校における学校・学級経営、学習指導、生徒指導等について研究討議を行い、へき地・複式教育そのものや少人数指導に対する理解を深めるとともに、その資質向上を図ることができた。
	指標① 目標：100人 実績：79人 達成率：79%
令和6年度	へき地・複式学校における学校・学級経営、学習指導、生徒指導等について研究討議を行い、へき地・複式教育そのものや少人数指導に対する理解を深めるとともに、その資質向上を図ることができた。
	指標① 目標：100人 実績：74人 達成率：74%

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 3	岐阜県のへき地教育水準の向上を図るため。また、教員の指導力の向上を目指した取組を充実させるため。
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)</p>	
(評価) 2	岐阜県へき地複式教育研究会が行う研究会の支援や、冊子「岐阜県のへき地教育」の刊行等により、へき地校における指導改善に寄与することができている。
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 2	岐阜県へき地教育振興会総会を年1回とすることや、事務局を市町村の教育委員会とすることなど、経費の節減と事務の効率化を図っている。

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 岐阜県のへき地教育水準のさらなる向上を図るために、教員の指導力の向上を目指した取組を充実させる。</p>
---

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか へき地校における教員の指導力のさらなる向上に努めるとともに、指導改善の成果を県内各校に普及し、個に応じた教科指導などの充実に努めるため。</p>
--